



KAMEDAJIMA

「はにかむエブリデイ」 亀田の郷の縞だより

「はにかむ」=しよしがり(はずかしがり)な亀田の人々、「ハニカム」=自然界に存在する丈夫で美しい亀の甲羅の構造。

強く優しい亀田縞と、この地にくらす人々をイメージしています

はじめまして
創刊準備号

令和4年



亀田縞利用促進協議会

Person

農事組合法人あけぼのクラブ
立川 喜彦さん マキさん



ピンクのラインは偶然の副産物
活動をサポートする「私たちの亀田縞」

江南区でお米や苺の生産を営むご夫婦。「誰がどのように作ってたかわかる物を安心して食べてもらいたい。地域の食材の素晴らしさを農家の側から届けたい」と、週末は産直マーケットやイベントに出店して直接お客さんと対面することに心を注いでいる。

作業場での催しも考える。ここに足を運んでももらえたら「農家がやっていることをもっとわかってもらえると思う」とマキさん。夏は「朝ごはんの会」。自家製の食材と郷土料理「きりざい」を器にまとめた朝食は、健康的な日本の朝への誘い。冬はハウスを開放して「キノコ狩り」。スーパの茸しか見たことない子どもたちは、大きくて黒い平茸にびっくりするのだとか。「農作物を作るだけとか売るだけじゃなく、いろんな角度から農家ができる事を考える」とワクワクする喜彦さん。

二人が接客する時に身に着ける亀田縞。色柄はマキさんが考えた。「自宅は、昔、機屋が立ち並んだ袋津エリアで、近所には立川織物さんがあります。でも正直

なところ布の買い方も、そもそもどんな柄があるかわからない。ただ私たちの活動で地元を盛り上げたいという思いが大きいのので相談したら、布は機屋さんで買えるし、好きな色で織ってもらえることを知りました。

自然や大地をイメージした何色かの縞を描いてしばらくするとサンプルの布地ができたから確認するようにという。するとたまたま機屋が目印のために織り込んだピンクの糸が「私じゃ考へつかないようなかわいいアクセントになっていて、思いがけないプレゼントをもらった気分」でそのままもう一色に加えた。

ピンクの縞が入ったエプロンと作業衣を着てイベントに立つと、お客さんに覚えてもらえるし、会話のきっかけになるのだとか。「主人はおしゃれが大好きなので、作業衣をショートパンツやスパッツに合わせて自由に楽しんで着ています」。理想とする農家のあり方同様に、亀田縞の着こなすには枠にとらわれない大らかさが表れている。



1. 大きな平茸。生産者おすすめの食べ方は声をそろえて「バターで焼いてポン酢！」
2. 「朝ごはんの会」で提案する農家発信のご飯。朝市などで販売するほか夏は作業場でも開催。
3. 仲間やお客さんに頼まれて同じエプロンを作ってあげることもある。

もつと身近に、魅力発見

令和3年、亀田縞利用促進協議会では、今よりもう一步、
亀田縞に親しんで活用してほしいという願いを込めて、新しいアプローチを行いました。

プロジェクト



▲亀田総合体育館/
スタッフユニフォーム
デザインはみんなで決め、縞をストライプとボーダーに違って工夫した。亀田縞は綿100%でノンストレッチなので少しゆとりあるサイズ感で作り動きやすさをクリア。



▲学生起業家 今井咲希さん/カジュアルスーツ



▲まちの駅 亀田の郷/ショッパー



▲新し屋酒店/トートバッグ



最優秀賞は亀田小学校5年中山壮琉さんの「亀田縞の観光列車」。電車が大好きで土曜日はよくおじいちゃんと電車に乗りに行くのだそう。ベース車両の115系は信越線利用者にはおなじみのあの電車です。想像上の事なのになんかとっても光栄です。

※入賞作品はweblogはにかむエブリデイ、または、江南区のホームページをご覧ください。

■ドリーム部門
豊かな感性で描く亀田縞
夢あふれるアイデアに驚く
昨夏、江南区の小学生に、亀田縞で作ってみたい夢のアイデアを募集しました。子どもたちの素直な目線から描くイマジネーションを期待して、自由に発想してもらったところ、予想をはるかに上回る550作品もの応募がありました。
インテリア、家具、乗り物、アウトドアetc.。さまざまなジャンルに、大人では思いつかないユニークな発想が集まりました。空想の世界を超え、生地の特徴に着目し実用化を視野に入れたクールな企画も。どれも甲乙つけがたく、入賞作を選ぶのはなかなかむずかしくて審査会は白熱しました。
最優秀賞は「観光列車」。内も外も縞しまの3両編成の電車が新潟―新津間を走行するもので、車内で亀田縞販売を行うという設定も胸熱です。稲穂が黄金色に輝く中、亀田縞が信越線を駆け抜ける姿が目に見えよう。子どもたちの柔らかい発想が、考える楽しさ、創る喜びにつながり、いつかここから新しい創造が生まれたら素晴らしいですね。カラフルで楽しい夢のアイデア、本当にありがとうございました。

はにかむ 機屋だより

中営機業(有)

仕事の中にしかない喜びを感じて毎日楽しくやっています

仕事がしたくて嫁に来て、仕事が好きなままもうすぐ50年。忙しくても充実してるからやっぱり趣味は仕事かな。布が織りあがると車に積んで栃尾や見附の加工所まで往復3時間の一人ドライブ。気をつけなせやって言われるけど運転は好きなのよ。畑仕事も楽しみで。キュウリやトマト、スイカにとうきび…今年は何を作ろうかな。秋は毎年干し柿を100個作って吊るすの。けっこう上手に作るのよ。



中林 恵利子 さん

今月のイチ押し!
ベビー服ギフトセット



運転中はアイデアの時間。新作の赤ちゃん用4点ギフトもそんな時間に考えた。爽やかで涼しいちぢみが赤ちゃんを快適に守る。スタイのパイピングは肌に優しいガーゼ素材。トドラーも準備中。

中営機業(有) 新潟市江南区曙町 1-8-18 | TEL.025-381-5163
大正12年創業。縦織で織り進めるため丈の長い浴衣や着物なども得意。亀田縞の素朴で優しい風合いを生かし、綿、ちぢみ、綿麻、ガーゼなどバリエーション豊富。

亀田縞の2軒の機屋のご主人へよもやまインタビュー。個性豊かな縞柄を生み出す2人の人柄にふれてみよう、というコーナーです。

今月のテーマ

趣味のちよつとばなし

立川織物

ゴルフはスッキリ、だけどストレス両面を味わう面白さがあるよ

趣味はゴルフ。やるのはもちろん、女子プロはプレイの参考になるからテレビ観戦もします。今は小祝さくらちゃん推しだけど、前は不動裕理命で、ヨネックスレディスにも足を運んでいたな。強いしうまいし優勝すれば気分がよくて、寺泊でカニを買って帰ってさ。親父もゴルフ好きだったから、そんな話をしながら一緒に飲んだのは楽しい思い出だね。ゴルフウェア?ポロシャツの上に亀田縞のベストを着てますよ。今度カバーも作ってみようかな。



立川 治秀さん

今月のイチ押し!
からみ織オーガニックコットンストール



軽くて柔らかいニットみたいな綿ストール。空気を含みふわふわ。「私ら夫婦は毎日首に巻いて寝てるけど暖かくておすすめ」。ゴルフや旅に重宝な一品。スモーキーな色合いも素敵。

立川織物 新潟市江南区袋津3丁目1-52 | TEL.025-381-3067
迷路のまち、袋津の一角にある明治17年創業の機屋。横織で織り進めるのが特徴で、通常の亀田縞より素野感のあるための糸で織りあげる。スベック染を行う。

■ チャレンジ部門

挑戦を応援、実用を期待

新しい活用をサポート

「チャレンジ部門」は、亀田縞を使った新商品開発などの助成。市外からの事前問い合わせもあり、昨今の亀田縞への注目度の高さをあらためて知ることになった。今回は4案を採択しました。

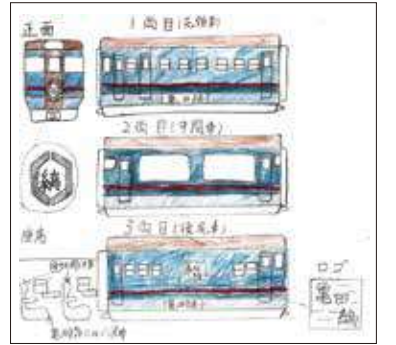
「新し屋酒店」は、自店のオリジナル日本酒と組み合わせ販売するトートバッグを製作。通常の綿布よりも丈夫な帆布を選択したことで酒屋らしい雰囲気が増しました。店のモチーフである河童の愉快なイラストが楽しそうな地元感あふれるギフトセットとなり、贈答にぴったり。バッグだけほしいというお客様もいるそうです。

「亀田総合体育館」を管理する(公財)新潟市開発公社は、2種類のスタッフユニフォームを製作しました。イベント時に着用する予定のポロシャツですが、コロナ対策で施設が長くクローズとなったため、まん防明けの施設再オープン時に、スタッフ全員で着用して利用者をお出迎えすることに。久々の再開に笑顔が集まる中、明るい雰囲気にも華を添えるお披露目となりました。

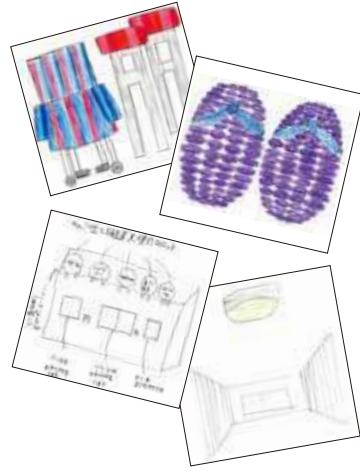
地域の特産品を販売する「まちの駅 亀田の郷」を運営するNPO法人環境バル21では、商品を入れるショッパーを製作。表と裏とで表情がちがう、防水加工が施された丈夫な紙袋は、持っているときそれ自体がブランドにもなる



1. キャンプ、お守り、マスクケース…。世情を反映したり今どきのライフスタイルをリアルに切り取った作品も多数でした。
2. 時間を忘れて悩む審査メンバー。夏休みの課題にしてくれた小学校もあったとか。



▲亀田縞の観光列車



高品質にこだわりました。もらっても嬉しいし、手土産を渡す際には会話が大いに弾みそう。

学生起業家による見附ニットとの素材ミックスの洋服デザイン企画も大詰め。生地を提供した立川織物は、「日頃縞を見慣れている我々」とちがって、若い女性が真っ新な視点から思いもよらない縞の組み合わせを考えるのだから面白い。若い人の頑張りを受けたい」と目を細めて見守っています。そろそろパンツとジャケットのサンプルができる頃です。妥協が許されない工程だけに、まさに今が踏ん張り時。詳細は次号でご紹介する予定です。

■ 産地にふさわしい景観づくり

亀田縞タペストリー増加中

区内の会社や店頭で亀田縞タペストリーを飾り、視覚的にも街に広がりに広めようという企画。2年目の令和3年度は亀田地区、横越地区、曾野木の10社から申込みがありました。昨年と合わせて計20カ所になりました。区内を車で走っていると気になると思いますが、安全に注意して発見してくださいね。



※設置全店はweblogはにかむエブリデイをご覧ください。



▲最優秀賞、優秀賞など14点のうち機屋賞が2作。滑りにくい亀田縞の特性を活かした松葉づえと車いす。アウトドア用パラソルは試作を製作中。

NEWS & INFO

新商品やイベントのお知らせ、プレゼントなど地域の情報を随時募集中！
内容の問合せはすべて亀田縞利用促進協議会広報部へ。

※お話の続きはweblogはにかむエブリデイでどうぞ。

雪国の生活文化を越後から発信 無印良品が世界の旗艦4店で半纏を販売

「東洋の知恵や生活文化を生かし、伝統が素材やかたちとなって見えること」をコンセプトに、(株)良品計画が亀田縞の半纏を製作。世界の旗艦4店(日本、上海、香港、ヨーロッパ)とネットショップで販売した。オーガニックコットンを使った半纏は、軽くて暖かいと評判。雪国の生活文化を見つめるきっかけにもなった。



女性ならではの目線で開発 明るい色目のちぢみが仲間入り

令和3年、中営機業(株)は新色ちぢみ(縮)を開発。日本の固有色を意識したピンク、竹色、えんじの3色。ちぢみは強撚を加えた縹糸(ヨコイト)を織ることで凹凸を出す。体に触れる部分が少なく風通しよく快適に過ごせる。夏の装いにおすすめだ。



立川織物がHPをリニューアル いつでも気軽にネットショッピング

立川織物は令和3年、長年課題にしていた通信販売やネットショッピングに着手。息子大介さんが参加して自社サイトをリニューアル、新しくショッピングページを追加した。「カード決済できるようになりいつでも気軽に買物してもらえるようになりました」ご主人太鼓判の仕上がりに。



同じ野良にルーツを持つ同士 しっくり調和、鯨&亀田縞の初コラボ

三条市の鯨メーカー相田合同工場(株)では毎年夏の感謝祭に顧客の鯨修理を行っているが、創業91周年目の令和3年は亀田縞の展示販売を開催。布と金属のまったくことなる存在が不思議なことに見事調和した空間となった。今後も予定あり。乞うご期待。



紺系の太縞が好印象 亀田縞、新潟手帳の表紙になる

(株)第一印刷所が発行する「2022年版新潟手帳」の表紙に亀田縞が採用された。立川織物の縞をベースに紺系のオリジナル縞で製作。書きやすいサイズで、県内のイベントやグルメ情報を網羅した暮らしに欠かせない情報が満載。県内書店・コンビニで発売中1,320円。



空の玄関でショッピング ウェアと小物の展示販売会

新潟空港2Fアカシア前で亀田縞の販売イベントを開催する(3月12日～4月30日)。ワンピースやパンツなど幅広い世代に向けた約80着、数多くの製品に触れられる機会だ。普段使いやミニギフトに名刺ケースやスリッパなどの雑貨、手作り派には布地販売も。



先覚に訊く。

亀田縞と同じく、永くこの地で活躍されている
会社やお店の諸先輩を知るコーナーです。

俯瞰でとらえる江南区の未来

大正4年の創業以来、建築土木、街づくりから高齢者福祉まで、幅広い事業を展開し町と人を見つめてきた五十嵐建設工業(株)社長であり亀田商工会議所会頭の五十嵐豊さんを訪問しました。

——信念と座右の銘を教えてください。

仕事には正義がないとダメだから、皆に幸福を与えることを考えないとけませんね。僕は稲盛和夫さんの「アメーバ経営」を5、6年前に導入しました。教えは仏教の精神「利他の心」。自分が自分と言わずに人のために尽くすと面白いもので利が来るんです。実際それまで苦しかった介護事業が非常によく変わりました。ほとんど損して得取れただけ、そんな気がしますね。

——高齢者福祉事業もされています。誰にも身近なことですが社長にも経験ありますか。

祖母が認知症になった時、家族は大変でした。介護は本人や家族ではなく社会の問題なのです。去年自宅の近くにグループホームを作りました。僕の念願の夢だったので気持ち的にはこれで終えてもいいかなと思うところまでできました。実際はまだ止まるわけにいかないけど(笑)。



五十嵐 豊さん
五十嵐建設工業(株) 代表取締役社長
亀田商工会議所 第9代会頭



プライベート一問一答

- Q1. 休日には? : Q2. 区外へ持って出るお土産は?
冬以外はゴルフ。 : 亀田製菓のあられとか、越乃寒梅。
- Q3. 好きな俳優と作品は : Q4. 最近お気に入りの地元の店は
高倉健。作品は「さばや」。鯖寿司をテイクアウト : したばかり。美味しいー。
「遥かなる山の呼び声」。

——社長はこの地をどのように見てらっしゃいますか。

社会にあつて江南区がどんな風に役に立つのかを考えます。日本は地震が多いからリスクを分散させた方がよい。すると日本海側の新潟に意味があり新潟市江南区の役割や可能性が見えてきます。地域をあげて亀田縞を世界に売り込む事も大賛成。一人じゃ限界があるものを地域で押し出す。土地の歴史も良いものを作る技術もありますからね。

——今の若い人は自分で事業を興したい人が多いらしいです。起業して成功する方法を教えてください。

夢を持つこと。吉田松陰の言葉「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし。」を贈りましょう。そしてやると決めたなら勇気をもって覚悟を決める。組織の中でもそうだけど、起業する人間はこれしかない。夢は人が決めるんじゃない、自分が好きに描くのだから楽しいじゃないですか。

募集中! お気に入りの亀田縞

買ったお店: ヤマシタ亀田店

定番の太縞に無地をバランスよく配置したデザインで、当店でも人気の一枚です。スカートは縞と無地を一枚の布のように接ぎ合わせた縫製で作られていて自然なフレアが楽しめます。亀田縞はシンプルで小技の効いたデザインが得意なクリエイターさんからセレクトして常設しています。



■お問い合わせ
新潟市江南区早苗2-525
TEL.025-382-6181
10時~19時 不定休



お気に入りの人: さんちゃんさん

紺とグレーの縞しまの表情が上下でちがっているところが気に入りました。ブラウスはデニムにあわせたり、スカートは何にでもあわせて一年中たくさんコーディネートしています。私たち世代に合う洋服がそろっているので、時々お店で新着チェックしています。

はにかむ for the future 活動日記

地域の良さを知り亀田を愛する人に育ててほしい。 絆を深める総合学習の授業をしました

11月、青山さんが亀田東小学校3年生の総合学習に臨みました。東小では座学(「亀田縞ってなに」「どうしてここで和綿がとれたの?」)のあと、綿花から綿と種をより分ける「綿繰り」体験してもらいました。

初めて綿に触れると「わあー」「ふわふわー!」と歓声。さっそく班に分かれ綿繰り作業。教室にキコキコキコ…歯車の音と「早く変わって〜」「あれ、ハンドルが動かないよー」と弾んだ声が響きます。「少しずつ綿を機械に詰めないと歯車が動きませんよ」と、少しヒントを伝えるだけで子どもはあっという間に上達します。種はお土産に。黄色い綿の花はかわいいので、ぜひお庭で種まきお願いします。青山さんの小学生への授業は今年で8年目。次回は綿を使ったミサンガ作りの予定です。

[※続きはweblogはにかむエブリデイをご覧ください。]



青山 登さん

亀田縞応援隊として活動、子どもたちに亀田縞を伝える。区内で綿を育てている。地元で和綿を広げる活動はカメの歩みのようにのんびり持久戦。しかし魂は熱く、夢は「育てた綿で紡ぎ染め、いつか自分のシャツを一枚作ること」。



KAMEDAJIMA

江戸時代後期、当時日本最北の木綿栽培地だった新潟県の亀田郷で、腰まで泥につかる過酷な米作りを支えるため、丈夫で汚れに強く、しかも美しい縞柄の綿織物「亀田縞」が誕生しました。大正期にかけて全盛期を迎えた亀田縞は、時代の変遷で一度は途絶えましたが、消滅から半世紀を経て、現在も残る2軒の機屋により復活しました。従来の素朴であたたかい風合いと丈夫さに加え、特色である独特の肌ざわりのよさ、現代生活になじむしなやかさを兼ね備えた布として注目されています。



提供: 亀田郷土地改良区 / 撮影 本間喜八氏

はにかむ 編集後記

はじめまして、亀田縞利用促進協議会です。私たちは、亀田縞をより地域の皆さまに身近に感じていただきたいとの想いから、江南区役所ほか亀田繊維工業協同組合、亀田商工会議所、地元コミュニティ協議会、生産及び関連会社、市民有志によって構成される団体です。地域の歴史を遺す逸品として、また、地域の誇りとして、様々な角度から亀田縞を皆さんの生活の一部にしていきたいと考えています。今後ともよろしくお祈りします。



亀田縞利用促進協議会 亀田繊維工業協同組合

〒950-0134
新潟県新潟市江南区曙町3-6-1
TEL:025-381-4105
http://kamedajima.net/

weblog

亀田縞通信はにかむエブリデイ

情報、投稿、ご意見は
こちらから



Instagram | @kamedajima_kamedajima Facebook | 亀田縞-kamedajima